

素敵に輝け！

校外学習にて

9月30日、金曜日、4年生の校外学習に付き添いました。行き先は、「富山県美術館」「富岩運河環水公園」「北陸電力エネルギー科学館 ワンダー・ラボ」の3か所。コミュニティバスとあいの風鉄道を乗り継いでの行程です。

自分で切符を買って電車に乗り、混み合う中で立っている。他の乗客がいるので会話を慎むなど、これまでのバスを使った楽ちん校外学習とは違い、マナーや手段を学ぶ機会でもありました。

富山県美術館では、作品を一つ一つじっくりと眺めていました。その鑑賞する態度がとてもよかったので、職員の方から「こんなにしっかりと鑑賞する子供たちは初めてです」とお褒めの言葉をいただきました。

次に行った富岩運河環水公園では、弁当を食べた後、自由遊びを楽しみました。すると噴水の周りに集まって水と戯れていました。中には服や履き物がびしょ濡れになる子もいました。

最後に行ったワンダー・ラボでは、いろいろな実験を興味深く楽しんでいました。「先生もやってみたら」「先生、勝負しよう」と一緒に科学実験を楽しむこともできました。

全ての訪問が終わって富山駅へ行きました。そこには、誰もが自由に弾いてよい「ストリートピアノ」がありました。それを見たAさんが「校長先生、弾いてきてもよいですか」と聞いてきました。

「(トイレに行っている)みんなが揃うまで、行っていないよ」と伝えると、Aさんを始め、ピアノを習っている3人が演奏を始めました。たくさんの方がいる中で物怖じしないで演奏をする度胸に感心しました。

その後、子供たちに促され、担任も校歌を演奏をしました。物怖じしない姿を担任も示しました。子供たちを含め、4人の演奏が富山駅構内に流れました。素敵でした。

静かに見るときは見る。元気に遊ぶときは遊ぶ。興味のある実験するときにはするなど、メリハリのある姿がよいと感じました。歩道を歩くとき、ブロックの上を歩いて「下りて歩かれ」と教えられたり、着替えが無いのに、噴水で遊んでびしょ濡れになったり、帰りの電車での4人席が嬉しくて、ついつい話が弾んで声が大きくなり、「小さな声でね」と注意を受けたりするなどもありましたが、それは子供らしい姿です。経験することで学んでいくことですね。

話が前後しますが、行きの小杉駅では、Bさんがホームにある点字ブロックを指して「あれは何ですか」と聞いてきました。「あれはね・・・」と説明すると、「どうして点のものと横につながっているものがあるのですか」とまた聞いてきました。これは、校外学習に出たからこそ気付き、疑問に思ったことですね。Bさんには学びがありました。

子供たちに付き添って、「観察し感じ取ろうとする姿」「今すべきことに夢中になって取り組む姿」を見ることができました。注意を受けて気付いて学んでいく姿も含め、子供らしい様子を微笑ましく見ることができた校外学習でした。

